



カウンセラーだより

たじま絆保育園 2020.6・7月号

保護者の皆さん、こんにちは。梅雨入りしましたね。今これだけ蒸し暑いと、夏がどうなるやら...コロナの影響で換気しながらクーラーをかけるとなると、全国的に消費電力がどうなるのでしょうか？？

さて、今月号はずっと延期していた『日本人のこころ』についてお伝えします。私がそんな大それたテーマを語るのは大変恐縮ですが、また、必ずしも日欧に分けられませんが、基本的な傾向として少しでも皆さんの中で「そうなんだ」と自分や身の回りの方を振り返る機会になれば幸いです。



日本人のこころ

日本人は集団文化・欧米人は個人文化

日本では、小さいころから「みんなと一緒に」「周りの人に迷惑が掛からないように」「相手への思いやりを大切に」などと親から子へ、あるいは先生から児童へ、他者や集団を重んじる文化が伝達されていきます。一方、欧米では個人としての在り方が大切とされています。主語はあくまで「私」です。日本のように「私たち」ではありません。私がどうあるか、どうしたいかが重要です。この背景には、欧米は地続きで多民族国家であるため他対「私」を主語として訴えなければ自分(国)を守る事ができなく、日本は島国ですから必然的に「自分たち」が生まれてきた、と考えられています。

日本人は保守的に考え、欧米人は改革的に行動する

ずいぶん変化してきましたが、日本はこれまでの慣例に従い、自国の文化を守ろうとします。また、仮に制度を替えるにしても、慎重に考え、議論に議論を重ね、実行に移します。石橋を叩いてから渡るのが日本人の特徴と言えるかもしれません。なるべく前もって問題が起きないように考え、なるべく良い考えを導き出そうとします。一方、欧米人も議論はしますが、基本的に決定が早く、行動的なように思います。とりあえずやろうというスタイルです。そしてやりながら軌道修正を図り、よりよい行動パターンを構築していくのです。その分、効果や結果はおのずと早く出てきます。

日本人は感情を抑え、欧米人は感情を表現する

日本人は小さいころから大人しくするように大人から言われ、育ちます。人の前で騒ぐのは恥であるという事を学び、静かにしている事が良しとされているからです。一方、欧米人は感情の表現を小さいころから大切に育まれていきます。自己主張に価値が置かれているからです。黙るのはよくない事であると教えられます。そのせいか、日本人と欧米人のボディランゲージや顔の表情を見てみると、表現の豊かさがまるで違います。

日本人は規律関係、欧米人はハートフル関係

日本人は言いつけや約束、ルールが強く、これは先ほどお伝えしたように、自分より相手を大切にする文化から来ています。ですから、どうしても親や先生など大人からの言いつけは強くなり、子どもは素直に従う事が求められています。そうでなければ日本人が大切にしている協調や和が保てなくなるからです。一方、欧米の制度は厳格である部分もありますが、親子関係や先生と児童の関係性においては、大人(社会)側からの支配的なルールが前提にあるのではなく、個(違い)を尊重した自由や愛情の交換を良しとしている文化があるように思います。

7~8月のお知らせ

- 基本的に水曜の朝から夕方まで出勤の予定です。
詳しい時間は園かカウンセラーまでお問い合わせください。



**8月号のテーマは「児童虐待」について
お知らせ致します！是非ご覧になって下さい！**